

第1号 静岡県裾野市議会議員

～働く人も住む人も“居心地のよい”まちづくり～

発行責任者：

中村純也

中村じゅんや 市政だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉 junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp（直通）

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉開設準備中～もう少しお待ちください

2014年10月5日裾野市議会議員選挙 皆様のご支援を受け無事当選致しました。



今後後援会の皆様はもとより、お世話になってまいりました皆様のお知恵、ご経験をお借りしながら、裾野市ならびに近隣市町村で働く方、暮らしている方々の声をよく聴き、ご期待に添えますよう努力してまいります。今後ともあたたかいご声援、厳しいご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

裾野市議会10月臨時議会 報告

初めて裾野市議会の議場に入場させていただきました。議席は「2番」です。

新人議員ほど前に座るため、期毎に抽選で席が決まりました。

今回の臨時議会は、選挙によりメンバーが変わったため、議会や各委員会を構成するための議会です。

【議長選挙】選考委員会により3名の立候補者から選挙で選任することとなりました。

- 議長 二見栄一（4期）・・・会派：はやぶさ
- 副議長 勝又 明（3期）・・・会派：未来すその

【監査委員の選任】市長からの推薦に対し、満場一致で可決しました。

- 監査委員 増田喜代子（4期）・・・会派：歩志の会

候補3名は、選考委員会でそれぞれ決意表明をしました。一様に「議会改革の推進を特別委員会を実施し、スピード感をもって対応する」「市民との意見交換の場を充実させる」という内容。また議員同士が一つのテーマについて討論し合う「政策討論会の実施」も挙げていました。今回の選挙の反省を踏まえた表明だったのではないのでしょうか。

今回の選挙は、「無投票になる」と言われるほど活気がなく、ぎりぎりになって定員に対して1名増の立候補により選挙となりました。投票率も投票日が大雨に見舞われたという状況もありますが54%と過去最低。「議員定数見直し」と市民の声が上がっています。こういったことも議会改革の一つとして討議されることになるでしょう。議会としては当然取り組む内容ですが、まずは裾野市前進させる元気というものを掘り起こすことも必要だと思っています。



市政のご相談は、本紙上部掲載の後援会事務所までお寄せください！
皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。
（左のキャラクターは、裾野市のゆるきゃら「すそのん」。お見知りおきを！）

議員協議会

【常任委員会委員】各会派内の調整を経て、各常任委員会委員が指名されました。

私、中村じゅんやは「厚生文教委員会」の所属です。

区分	常任委員会		
	総務委員会	厚生文教委員会	産建水道消防委員会
日本共産党	岡本 和枝	岩井 良枝	
公明党		佐野 利安	三富 美代子
会派：はやぶさ	二ノ宮 善明	二見 栄一	杉本 和男
	土屋 秀明	小田 圭介	廣瀬 主博
会派：未来すその	勝又 明	杉山 茂規	芹澤 邦敏
	井出 悟	中村 純也	
会派：市民クラブ	杉本 平治	小林 俊	村田 悠
			内藤 法子
会派：歩志の会	増田 喜代子		賀茂 博美

今回所属する会派：未来すそのは、全員が連合の推薦・支持を受けたメンバーで構成されました。基本的に、考え方や方針に偏りがなく、働く者の代弁者の集まりとして互いに協力し合い、市政に反映できるよう頑張っていきたいと思っております。

前任者 土屋篤男さんに、議員活動を振り返ってのご挨拶を頂きました。

思い起こせば16年前、前任の「遠藤博」元議員から、「土屋君、市議会議員に立候補してくれないか」の一言から私の議員への生活がスタートしました。

昔、私の父が裾野市の教育長を務めていました。私が矢崎に入社した時、父が遠藤さんに「息子が矢崎に入ったのでよろしくお願いします」と挨拶をしたそうです。その時から遠藤さんの頭に「須山の土屋」がインプットされ、冒頭のお誘いとなりました。当時、私は矢崎YTC（研究所）に勤務していて組合（行政）のことは素人でした。ですので、遠慮申し上げましたが社長の了解をいただいているということで転勤のような感覚で立候補となりました。

以後4期・16年間おかげさまで無事に議員を務めることができました。1期目には「議会だより編集委員長」、2期目には「文教消防委員長」、3期目には「副議長」、そして4期目には「第28代裾野市議会議長」を務めることができました。

やはり一番記憶にあるのは3年前の東日本大震災（3/11）です。議長を務めている時で3月の定例議会中のことでした。大橋前市長より災害支援協定先の「福島県相馬市、茨城県龍ヶ崎市」への義援金（計20,000千円）支出の議案が提出がされ即座に全会一致で可決しました。議会終了後、全議員自らの義援金も含め市長・正副議長と相馬市・龍ヶ崎市を訪れ、各市長に直接義援金を届けてきました。とにかく、あの津波の跡には驚かされ、被害の大きさを実感してきました。幸いにも当裾野市は津波の影響は考えられませんが、富士山噴火や集中豪雨、豪雪に対しては想定外も視野に入れた対策が必要だと考えました。先日、議員15年表彰を全国市議会議長会からいただきました。無事に務めたという安堵感がありますが、みなさまのお役に立てたでしょうか、ちょっと心配です。いずれにせよ、16年間本当にありがとうございました。

土屋あつお